

# ライフサイエンスイノベーション推進機構セミナー

## 第337回学内セミナー(大学院セミナー)

日時:平成22年12月21日(火)17:00~18:00

会場:研究棟3階会議室

演者:中村 克樹 先生

(京都大学霊長類研究所行動神経研究部門高次脳機能分野教授)

演題:「社会行動を研究する対象として  
のマーモセットについて」

### 【要旨】

近年、神経科学の基礎研究者も精神障害や神経疾患を対象とした研究者も社会行動の神経基盤に注目している。ラットやマウスなどげっ歯類は、行動特性や神経系の構造や機能がヒトと大きく異なることから、特に社会行動を対象としたときにモデル動物として必ずしも最適とは言えない。系統発生的に近縁であり、行動特性や神経系の構造や機能がヒトと類似しているサル類が実験動物として望まれる。しかしこれまでサル類(例えば、ニホンザル)は、その繁殖能力の低さや飼養にかかるスペースや費用の大きさから敬遠されてきた。さらに、社会行動を対象とするような環境を用意することができる研究施設は日本にほとんどない状態である。コモン・マーモセットという南米原産の小型霊長類は、霊長類の中では特筆すべき高い繁殖能力を持ち、また「家族」を単位として社会を構成し、母親だけでなく父親や兄弟個体も子育てを手伝うといった特徴を示す。小さなスペースで飼育・繁殖が可能である。昨年、遺伝子改変(トランスジェニック)マーモセットの作出が報告され、今後ますます遺伝子操作を含めた実験に用いる動物として重要性を増すと考えられる。ここでは、コモン・マーモセットに関して、その行動特性を中心に可能性を紹介する。

本学内セミナーは大学院セミナー及び医科学特論(非常勤講師枠)の授業も兼ねていますので、大学院1・2年生は是非出席して下さい

(必修科目「医学研究総論」「医科学特論」「先端応用医学概論」の出席回数にカウントされます)。

また、学内の研究者間の交流をはかることも目的としていますので、多数の御来聴をお願い致します。

・生命科学複合研究教育センター  
・トランスレーショナルリサーチ推進センター  
・ライフサイエンス支援センター

主催:福井大学ライフサイエンスイノベーション推進機構